

(1) 広島大学：ダッシュボード概要 1/2

広島大学はダッシュボードの情報量が多く、可視化項目が豊富であり、細かい属性ごとに可視化されていることから、本件の参考になると考え調査対象として選定した。

ダッシュボード名称	設置区分	概要	URL	BIツール	活用しているオープンデータ等
広島大学ファクトブック	国立	IRの一環として公開しているファクトブック	https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook	その他 BIツール	産連調査、国際研究交流状況調査等

凡例 ○：事例有、△一部事例有、－：事例無

	可視化項目	事例の有無
①	所属教員数及び所属教員比率	○
②	研究者の受入人数（学外所属別及び区分別）	－
③	共同利用・共同研究の採択状況	－
④	共同利用・共同研究を活用して発表された論文数及び分野別論文比率	△
⑤	科学研究費等の採択状況（採択金額及び採択件数）	○
⑥	民間との共同研究実施状況（金額及び件数）	○
⑦	受託研究実施状況（金額及び件数）	○
⑧	財務情報（決算額等）	－
⑨	国際交流状況	○
⑩	学生受入状況（大学院生受入数、留学生受入数）	○
⑪	シンポジウム等の実施状況	－
⑫	施設・設備の利用状況	○
⑬	資料の利用・提供・整備状況	○
⑭	研究用データ等の作成・公開状況	－

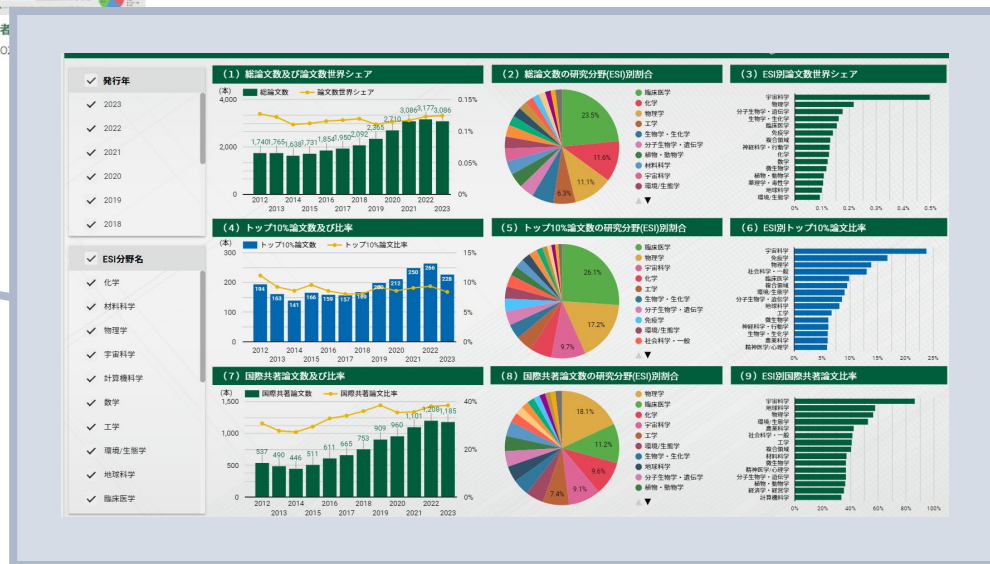
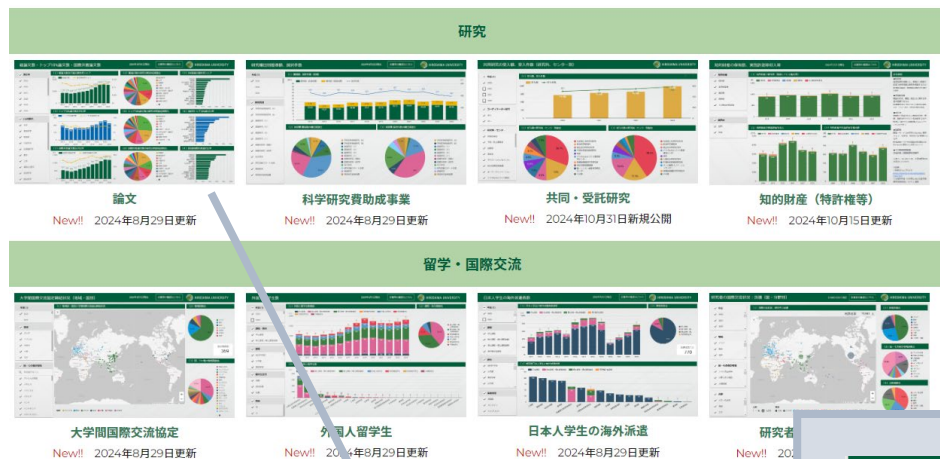
共同利用・共同研究拠点：認定あり

【単独型】
放射光科学研究所

【拠点ネットワーク】
生体医歯工学共同研究拠点：半導体産業技術研究所
放射線災害・医科学研究拠点：原爆放射線医科学研究所

(2) 広島大学：ダッシュボード概要 2/2

広島大学ファクトブックの特徴は、ダイジェスト版と概要版のダッシュボードを作成・公開している点である。更に、各ダッシュボードを7項目に分類し、それぞれのプレビュー版をつけることでどのようなダッシュボードであるかについて具体的に想像できる点も特徴である。

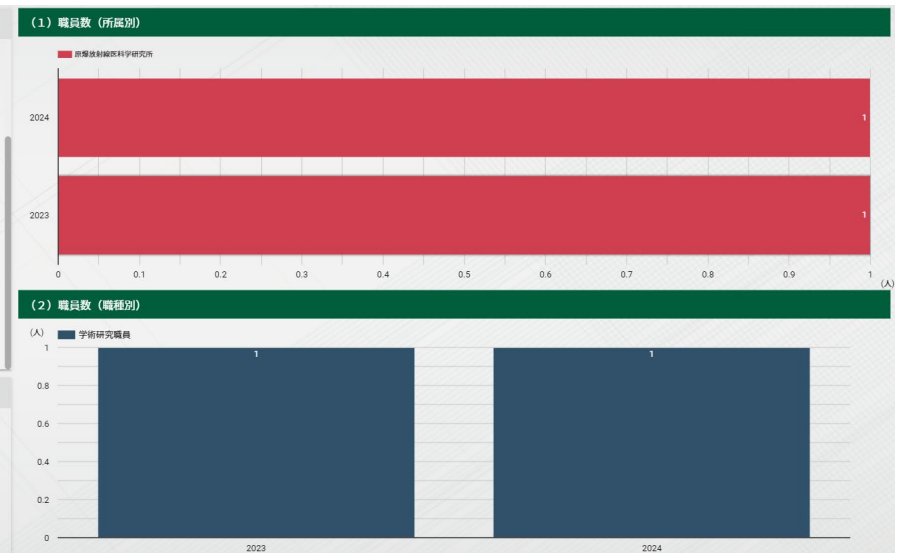
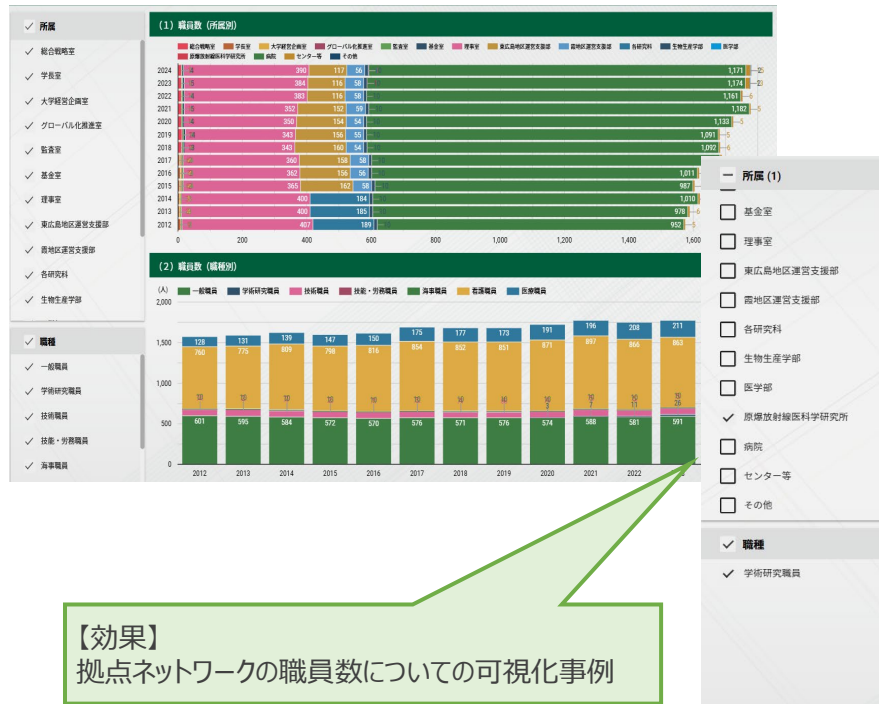


出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>

(3) 広島大学：可視化項目①

広島大学では大学教員数／職員数について可視化されていた。大学教員数については配属・所属別と職名別の2種類のグラフで表されており、大学職員数については所属別・職種別で表されていた。可視化項目については北海道大学や九州大学と同様であるが、拠点ネットワークである「原爆放射線医科学研究所」の職員数（所属別・所属別）の可視化がされていた点は他大学に無い特徴である。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
大学職員数	大学職員数について、所属別（総合戦略室／学長室／原爆放射線医科学研究所／病院など計16種類）に経年変化を可視化	積上げ棒グラフ(横)
	大学教員数について、職種別（一般職員／学術研究員／技術職員など計7種類）に経年変化を可視化	積上げ棒グラフ(横)

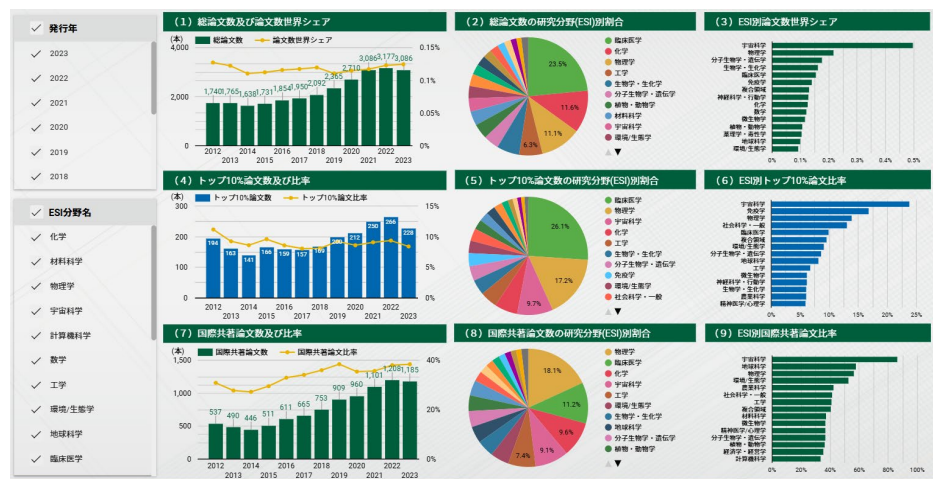


出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>

（４）広島大学：可視化項目④ 1/2

広島大学では、論文について北海道大学と同様の可視化項目が設定されていた。論文数と比率の発行年ごとの推移を表示するグラフに加えて、研究分野別に分析した結果が掲載されている。

可視化項目	情報発信の内容	
総論文数及び論文数世界シェア	・ 総論文数と論文数の世界シェアの推移について可視化	棒グラフ（縦） 折れ線グラフ
Top10%論文数及び比率	・ Top10%論文数とTop10%論文比率の推移について可視化	
国際共著論文数及び比率	・ 国際共著論文数とその比率の推移について可視化	
総論文数の研究分野(ESI)別割合	・ 総論文数の研究分野別の割合について可視化	円グラフ
Top10%論文数の研究分野(ESI)別割合	・ Top10%論文数の研究分野別の割合について可視化	
国際共著論文数の研究分野(ESI)別割合	・ 国際共著論文数の研究分野別の割合について可視化	
ESI別の論文数世界シェア	・ 論文数世界シェアを研究分野別に可視化	棒グラフ（横） ※比率が高い順に表示
ESI別のTop10%論文比率	・ Top10%論文比率を研究分野別に可視化	
ESI別の国際共著論文比率	・ 国際共著論文比率を研究分野別に可視化	

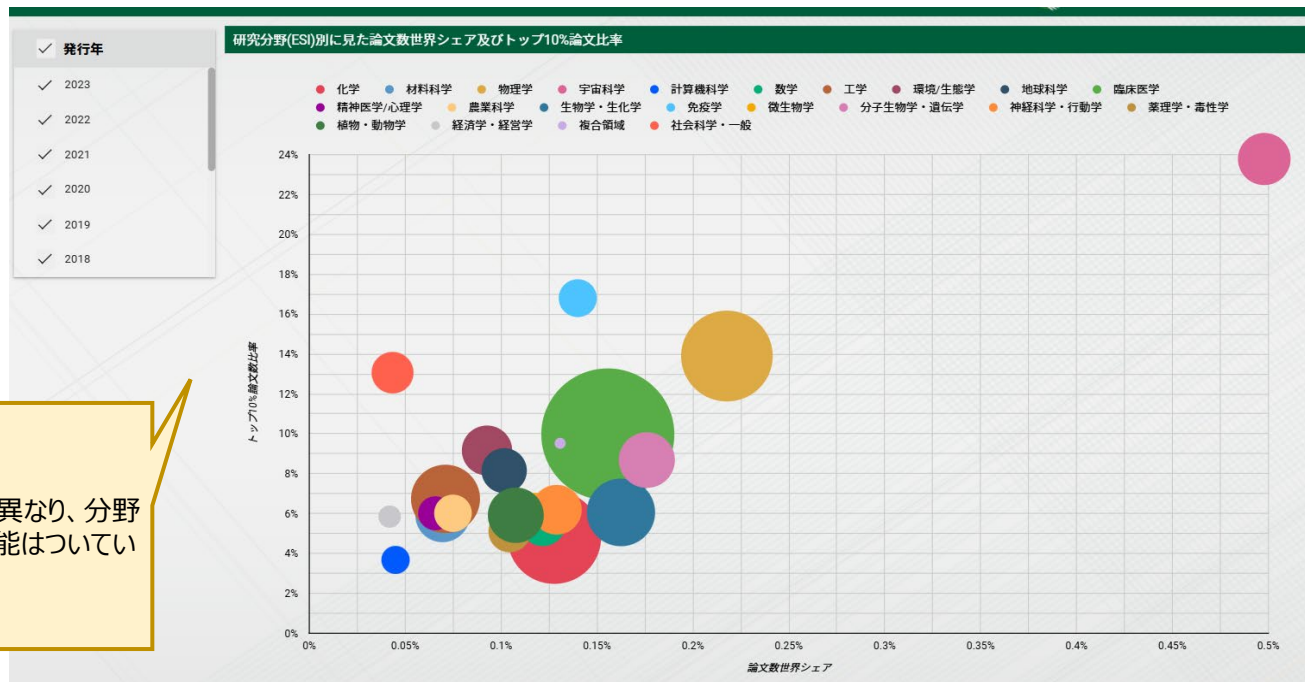


出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>

(4) 広島大学：可視化項目④ 2/2

広島大学では、論文について北海道大学と同様の可視化項目が設定されていた。バブルチャートを用いて、論文数と比率を1つのグラフに可視化している。発行年を指定（絞り込み）することにより、一定時点、あるいは一定の期間における論文の量と質や厚みの関係性を分析するのに有効であると考えられる。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
研究分野(ESI)別に見た論文数世界シェア及びTop10%論文比率	研究分野別の論文数をバブルの大きさと可視化し、縦軸をTop10%論文比率、横軸を論文数の世界シェアで可視化	バブルチャート



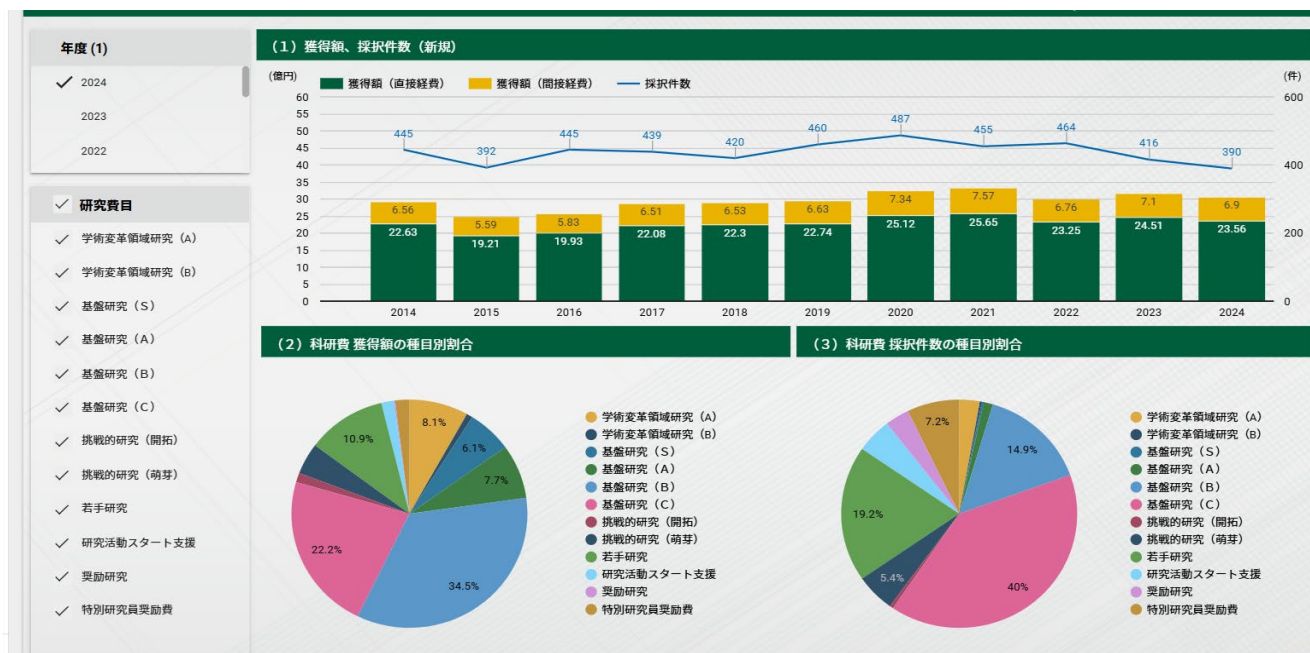
【課題】
北海道大学とは異なり、分野別のフィルター機能はついていない

出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>

(5) 広島大学：可視化項目⑤ 1/2

科学研究費等の採択状況については、北海道大学や九州大学同様、獲得金額、新規採択件数、獲得額の種目別割合、採択件数の種目別割合について可視化されていた。獲得額について、直接経費と間接経費を分けて可視化している点も、他2大学と同様であった。

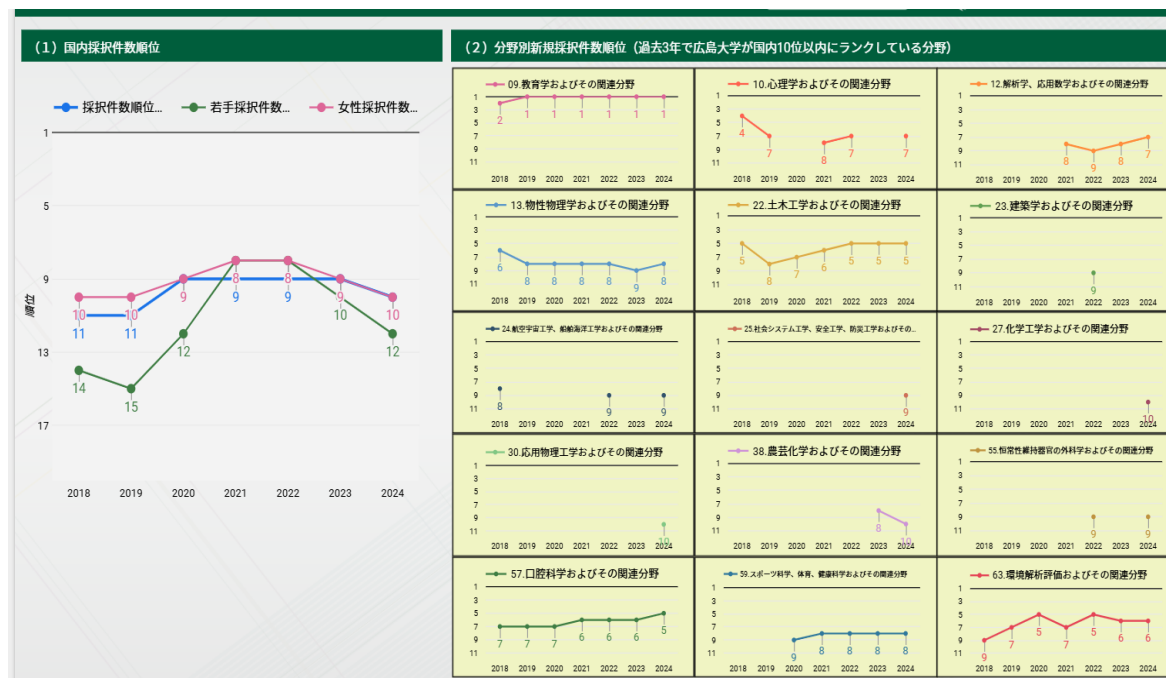
可視化項目	情報発信の内容	表示方法
獲得額、採択件数（新規）	・ 科研費の獲得額と採択件数について、経年の推移を可視化。また、獲得額については直接経費と間接経費の内訳を示している	折れ線グラフ 積み上げ棒グラフ(縦)
科研費 獲得額の種目別割合	・ 獲得額の種目別割合について示している	円グラフ
科研費 採択件数の種目別割合	・ 採択件数の種目別割合について示している	円グラフ



(5) 広島大学：可視化項目⑤ 2/2

科研費に関する可視化項目において広島大学の特徴といえることは、採択件数の順位（国内採択件数順位／分野別新規採択件数順位／獲得額Top10課題が示されていることである。採択件数の順位は「科学研究費助成事業の配分について（文部科学省）」を基に広島大学独自で算出している。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
国内採択件数順位	・ 採択件数順位（新規）と、若手採択件数順位（新規・継続）、女性採択件数順位（新規・継続）について経年の推移を可視化	折れ線グラフ
分野別新規採択件数順位	・ 過去3年で広島大学が国内10位以内にランクインしている分野の順位について、経年の推移を可視化	折れ線グラフ

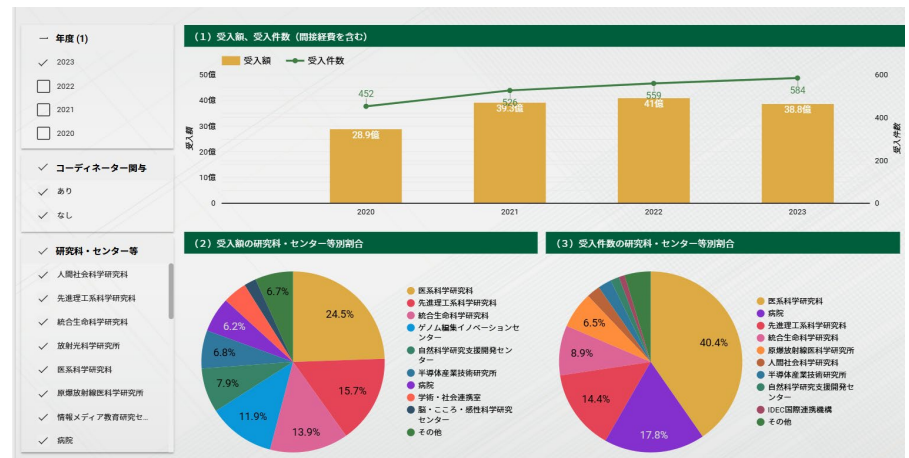
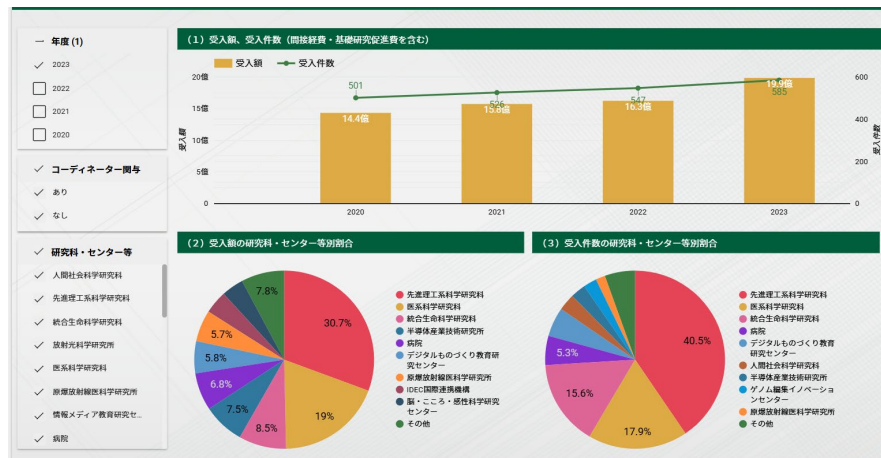


出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>

(6) 広島大学：可視化項目⑥⑦

広島大学の共同研究・受託研究について、受入額や件数の経年変化を可視化している点は北海道大学と同様であったが、学内の研究科やセンター等の内訳を示している点は広島大学ならではの特徴であった。（北海道大学では、相手先区分(国/国内民間企業など)による可視化がされていた）

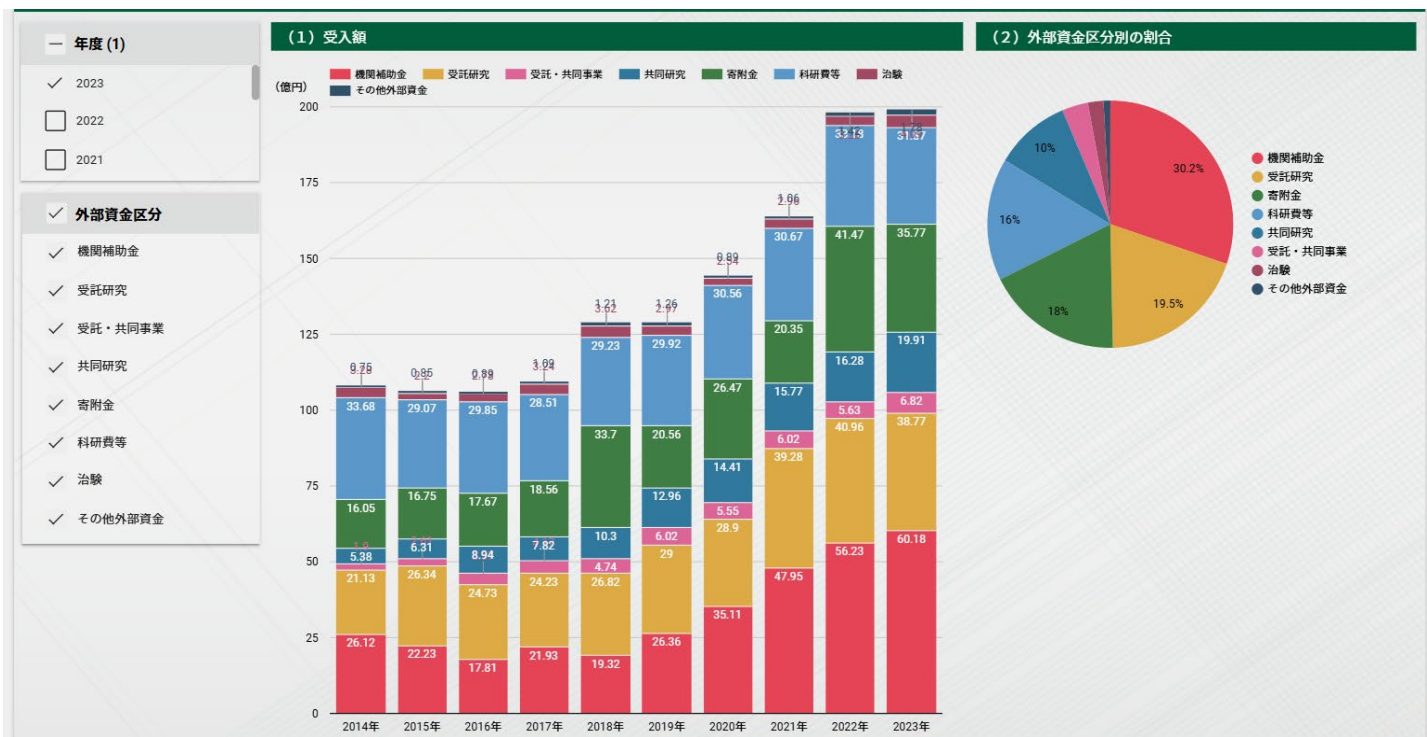
可視化項目	情報発信の内容	表示方法
共同研究 受入額、受入件数	共同研究の受入額と受入件数について、経年の変化を可視化	棒グラフ(縦) 折れ線グラフ
共同研究 受入額／受入件数の研究科・センター等別割合	共同研究 受入額／受入件数について、研究科・センター等別の内訳を示し、割合を可視化	円グラフ
受託研究 受入額、受入件数	受託研究の受入額と受入件数について、経年の変化を可視化	棒グラフ(縦) 折れ線グラフ
受託研究 受入額／受入件数の研究科・センター等別割合	受託研究 受入額／受入件数について、研究科・センター等別の内訳を示し、割合を可視化	円グラフ



(7) 広島大学：可視化項目⑤⑥⑦ 1/3

広島大学で一番の特徴であることが、外部資金について項目が設定されていることである。3種類（外部資金情報／補助金、受託研究、受託・共同事業、共同研究の受入額の詳細／科研費等の受入額の詳細）にもわたって可視化されており、下記にて詳細を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
受入額	・ 外部資金の受入額について、外部資金区分（受託研究／共同研究／科研費等／寄付金など計8種類）について内訳を示し、経年の推移を可視化	積上げ棒グラフ(縦)
外部資金別の割合	・ 外部資金の割合について可視化	円グラフ

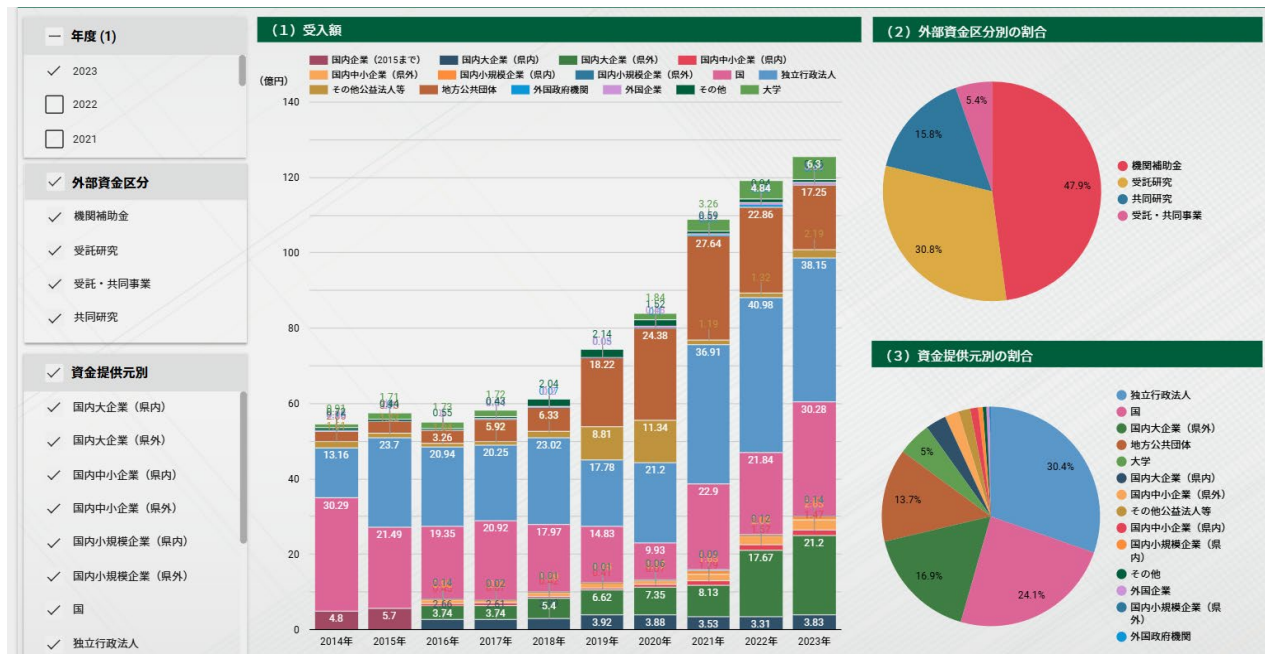


出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>

(7) 広島大学：可視化項目⑤⑥⑦ 2/3

広島大学で一番の特徴であることが、外部資金について項目が設定されていることである。3種類（外部資金情報／補助金、受託研究、受託・共同事業、共同研究の受入額の詳細／科研費等の受入額の詳細）にもわたって可視化されており、下記にて詳細を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
受入額	受入額について、資金提供元別（国内大企業(県内外)／国内中小企業(県内外)／国内小規模企業(県内外)／国／独立行政法人など計14種類）について内訳を示し、経年の推移を可視化	積上げ棒グラフ(縦)
外部資金別の割合	外部資金別の割合について可視化	円グラフ
資金提供元別の割合	資金提供元別の割合について可視化	

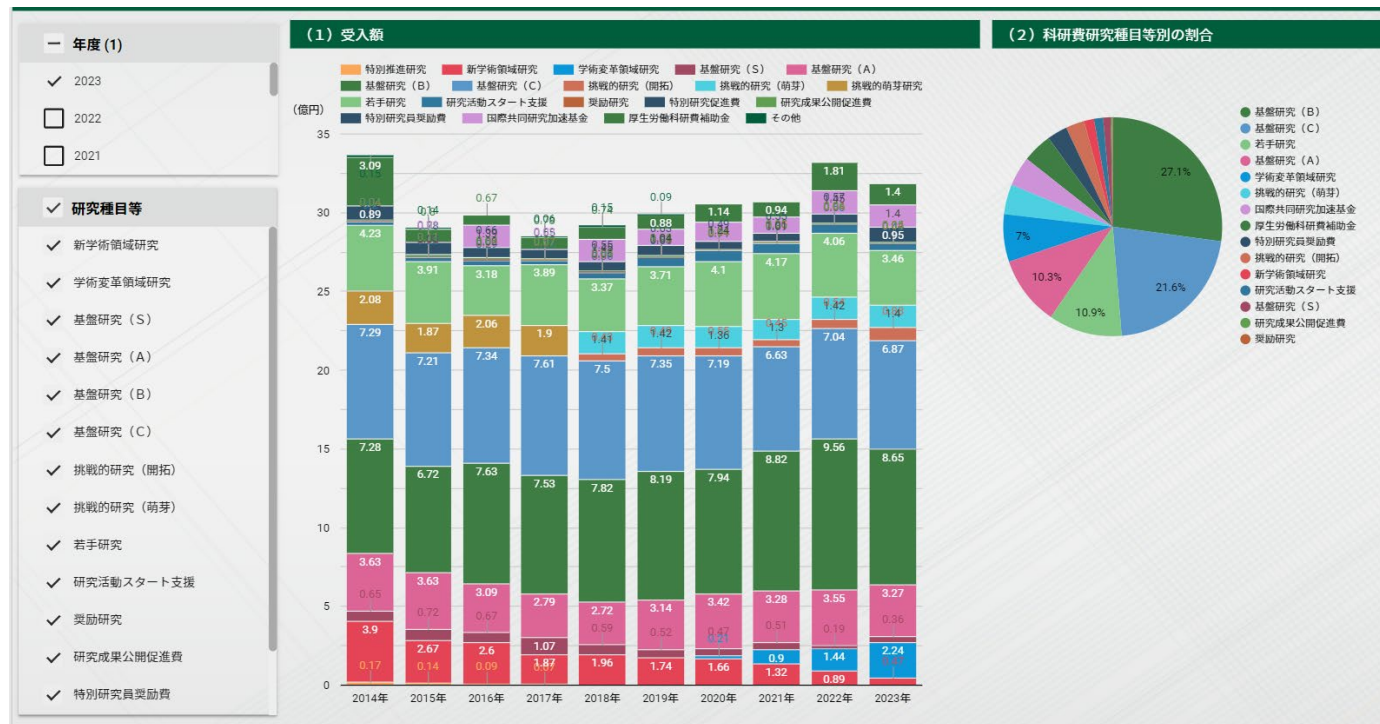


出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>

(7) 広島大学：可視化項目⑤⑥⑦ 3/3

広島大学で一番の特徴であることが、外部資金について項目が設定されていることである。3種類（外部資金情報／補助金、受託研究、受託・共同事業、共同研究の受入額の詳細／科研費等の受入額の詳細）にもわたって可視化されており、下記にて詳細を説明する。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
受入額	・ 科研費等の受入額について、研究種目別（新学術領域研究／学術変革領域研究／基盤研究(S)など計15種類）について内訳を示し、経年の推移を可視化	積上げ棒グラフ(縦)
外部資金別の割合	・ 科研費研究種目等別の割合について可視化	円グラフ



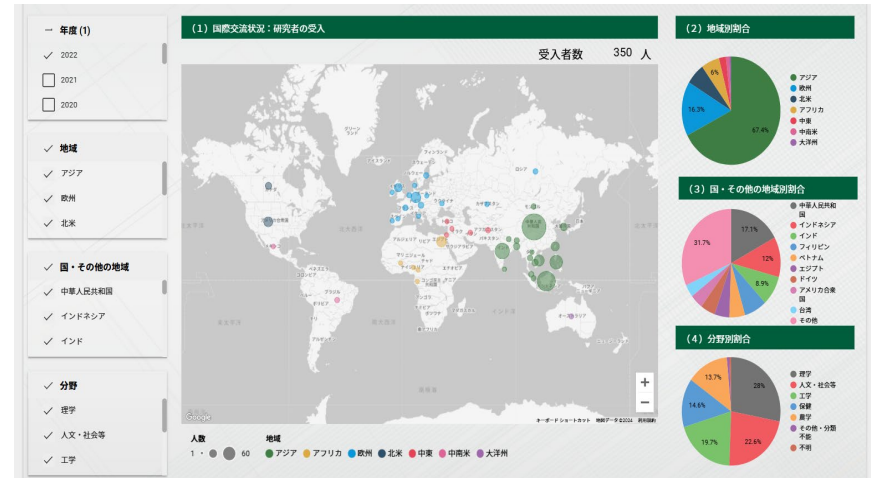
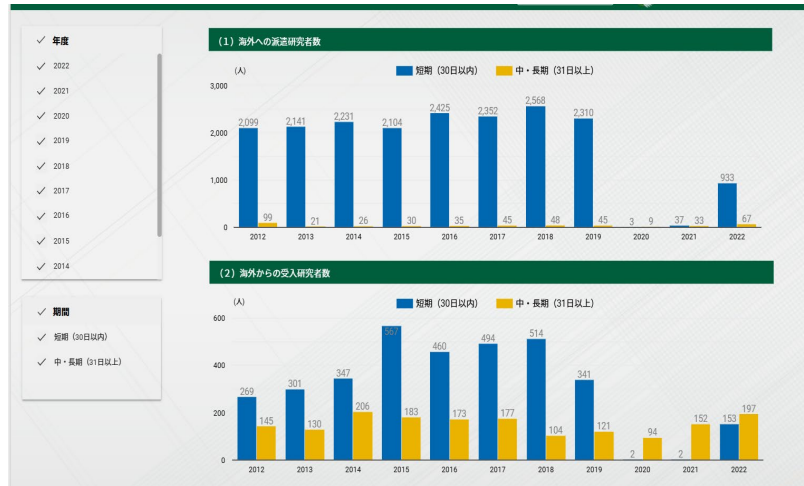
出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>

(8) 広島大学：可視化項目⑨⑩

国際交流状況・学生受け入れ状況※については、北海道大学・九州大学・上智大学と比較し、広島大学が一番可視化項目が多かった。研究者の国際交流状況について、海外への派遣研究者数と海外からの受入研究者数を可視化していた点は北海道大学と同じであるが、研究者の受け入れ状況を地図で表したり、地域別の割合・分野別で割合を示していることは広島大学の特徴である。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
海外への派遣研究者数 海外からの受入研究者数	・ 短期、中・長期の内訳を示し、経年の推移を可視化	集合棒グラフ(縦)
国際交流状況：研究者の受入	・ 研究者の受入数について、地域別／国・その他の地域別（中国やインドネシア等の国別）／分野別に人数を円の大きさと可視化	世界地図
地域別割合	・ 地域別（アジア／欧州／北米等7種類）に割合を可視化	円グラフ
国・その他の地域別割合	・ 国・その他の地域別（中国／インドネシア等10種類）に割合を可視化	
分野別割合	・ 分野別（理学／人文・社会等／工学／保険等7種類）に割合を可視化	

※大学院生の受入れ状況についても、「入学状況」・「学生数」ページで確認可能である。本報告では、特に可視化項目の多かった「研究者の国際交流状況」について取り上げる。



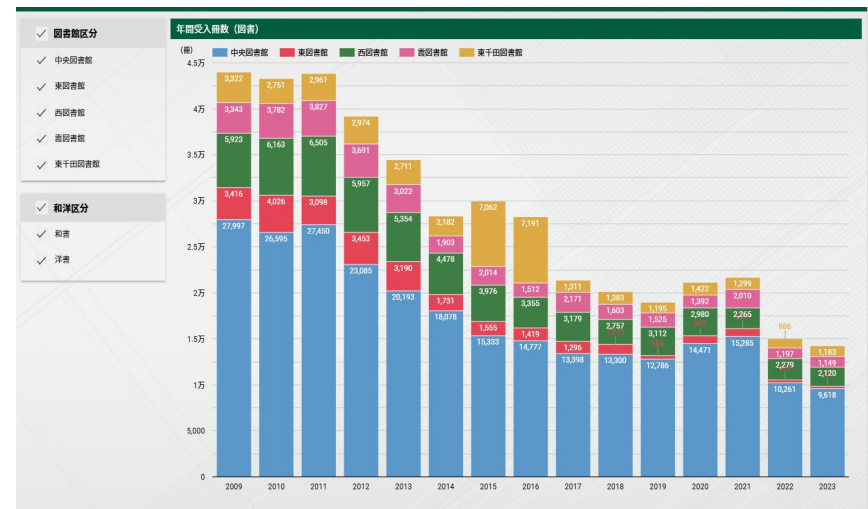
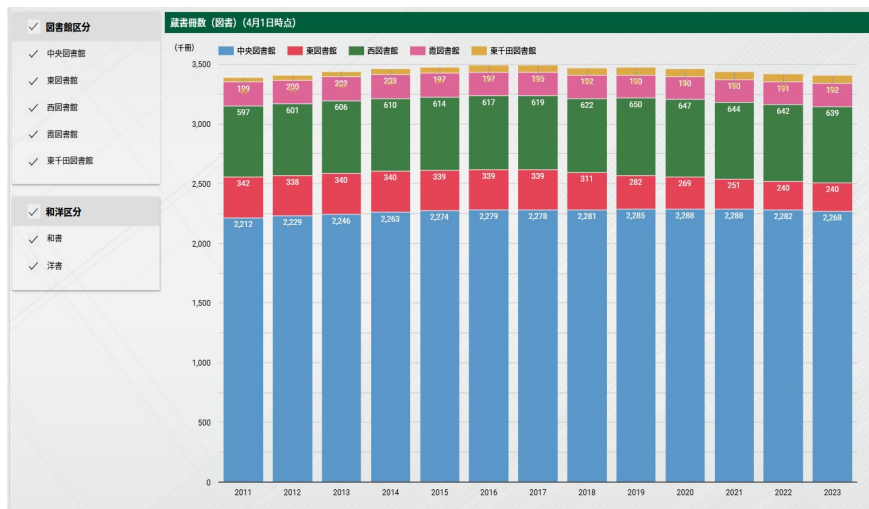
出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>

(9) 広島大学：可視化項目⑫⑬

広島大学では、広島大学附属図書館に関する設備の利用状況や資料の状況が可視化されていた※。可視化項目は、北海道大学、上智大学の図書館での事例と同様であった。

可視化項目	情報発信の内容	表示方法
蔵書冊数（図書）	大学図書館の蔵書数について、図書館区分（中央図書館／東図書館など計5種類）に経年変化を可視化。和書／洋書の区別の内訳も示している。	積上げ棒グラフ(縦)
年間受入数（図書）	大学図書館の年間受入数について、図書館区分（中央図書館／東図書館など計5種類）に経年変化を可視化。和書／洋書の区別の内訳も示している。	積上げ棒グラフ(縦)

※施設・設備の利用状況についても、「キャンパス・施設」ページで確認可能である。本報告では、特に資料の利用・提供・整備状況として「図書」ページについて取り上げる。



出典 広島大学ファクトブック <https://sites.google.com/view/hiroshima-u-factbook>